

# 低濃度アトロピン点眼薬について

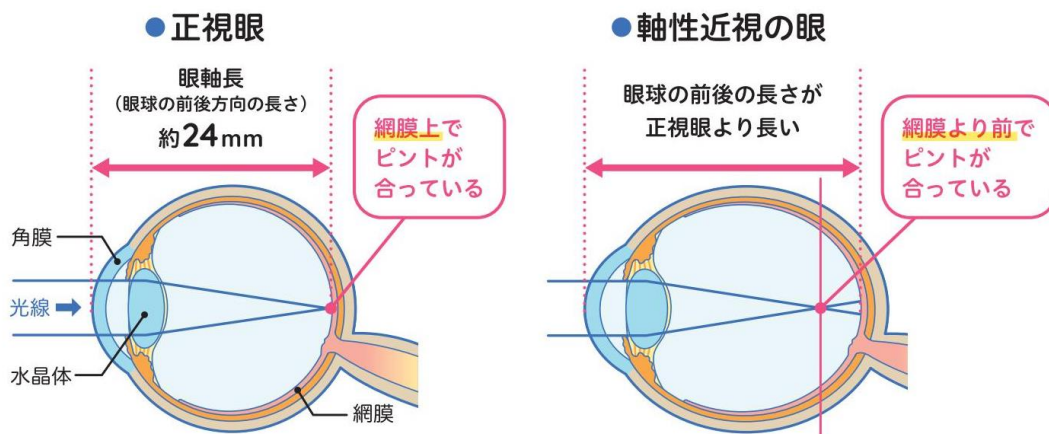
## 【低濃度アトロピン点眼薬の特徴】

- ・本治療は、低濃度アトロピン点眼薬を点眼することで、小児の近視進行を抑制することを目的とするものです。
- ・毎日必ず就寝前に1滴点眼するだけの簡単な治療法です。
- ・低濃度アトロピン点眼薬発売前の臨床試験において、点眼を行わない場合に比べて、小児の屈折値の進行や、眼軸長の伸びを抑制することが確認されました。



## 【近視の進行を抑制することが大切な理由】

子どもの近視は、主に眼球が楕円形に伸びてしまう（眼軸長が伸びる）ことで、ピント位置がずれることにより生じるケースが多くあります。近くを見ることが習慣化してしまうと近視になりやすく、一度眼軸長が伸びてしまうと 戻ることがありません。そのために眼軸長の伸びを抑えることが、近視の進行を抑制するためには重要となります



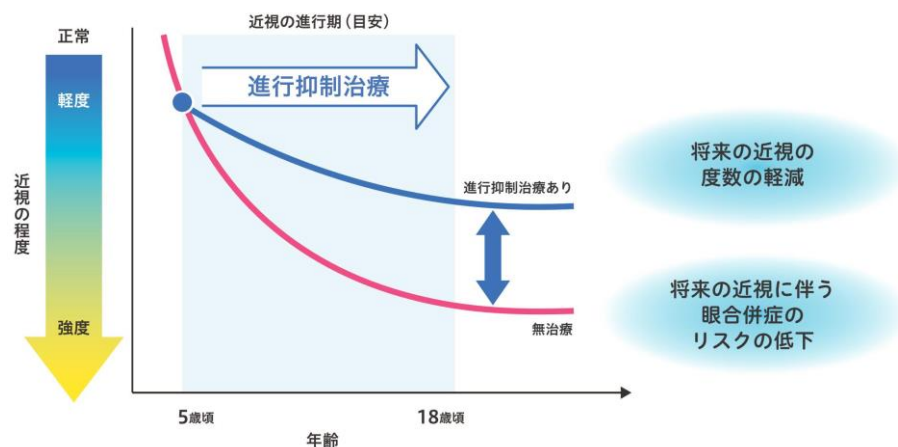
### 【低濃度アトロピン点眼薬が選ばれる理由とは？】

低濃度アトロピン点眼は、近視の進行を遅らせる（眼軸長の伸展を抑制する）という点で統計的にも臨床的にも有意義な効果が確認されている治療法の一つです。

最適な濃度(0.025%)のアトロピンを配合する事により、近視の進行スピードを効果的に抑えると同時に、アトロピン 1%点眼薬よりも副作用を軽減しています。

近視が進むと強度近視の合併症（近視性黄斑症・開放隅角緑内障、白内障、網膜剥離）の発症リスクが増加します。

近視進行抑制治療の目的は、小児期にその進行を可能な限り抑制することによる“将来の近視の度数の軽減”と“将来の近視に伴う眼合併症リスクの低下”です。



### 【低濃度アトロピンは安全ですか？】

重篤な副作用の報告はありません。

この薬の本来の作用により、一時的に瞳孔（黒目）が大きくなりまぶしく感じますが、数時間でほぼ正常な状態に戻ることがほとんどです。

近視の進行を平均約 60% 軽減させる良好な点眼薬と言われております。